

活用ナビ

①【ねらい】日清・日露の戦いの様子についてわかる。

② ● 教科書の絵Aの題を読みましょう。
 ● 3人の人物や魚はそれぞれの国を表しているでしょうか。
 ※題と服装から考えさせる。朝鮮は本文から探させる。

③ ● それぞれの国は何をしようとしているのでしょうか。予想してみましょう。
 ※最初は絵から予想を立てさせる。日本と清が魚（朝鮮）を狙っていることを発表するであろう。一通り出たら本文で確かめたい。

③ ● このような絵を「風刺画」といいます。風刺の意味を調べてみましょう。
 ※この絵は当時の社会の様子を釣りにたとえていることを説明する。

④ ● 資料1「日清戦争の戦場」から、わかることを書きましょう。
 ※「日本軍の進路」がどこからどこに伸びているか、「戦場」の場所がどこなのか注目させたい。

⑤ ● 資料2「日露戦争の戦場」から、わかることを書きましょう。
 ※④と同様に、「日本軍の進路」と「戦場」の場所に注目させる。加えて日清戦争との違いも引き出したい。

⑥ ● 日清戦争・日露戦争についてノートにまとめよう。
 ※どのような戦いだったか、子どもたちなりの表現でまとめさせたい。

6年-16

2-9 近代国家を目ざして
日清・日露の戦い

P188~P189

6年 組 番
名前

①【ねらい】日清・日露の戦いの様子についてわかる。

②【基本】教科書の絵Aの題を読もう。
 ● 3人の人物や魚はそれぞれの国を表しているだろうか。

・左側の人 → 日本

・右側の人 → 清（中国）

・橋の上の人 → ロシア

・魚 → 朝鮮

③【ポイント】それぞれの国は何をしようとしているのだろうか。予想しよう。

日本は朝鮮に勢力を広げようとしている。清も朝鮮への支配を強めようとして、対立が深まった。ロシアも朝鮮をめぐる日本や清の動きが気になり、離れたところから注目している。

④資料1「日清戦争の戦場」から、わかることを書こう。

- ・日本軍が九州や四国から朝鮮、中国と攻め入っている。
- ・朝鮮や中国（清）が戦場になっている。
- ・台湾にまで日本軍は進んでいった。やがて領土にした。

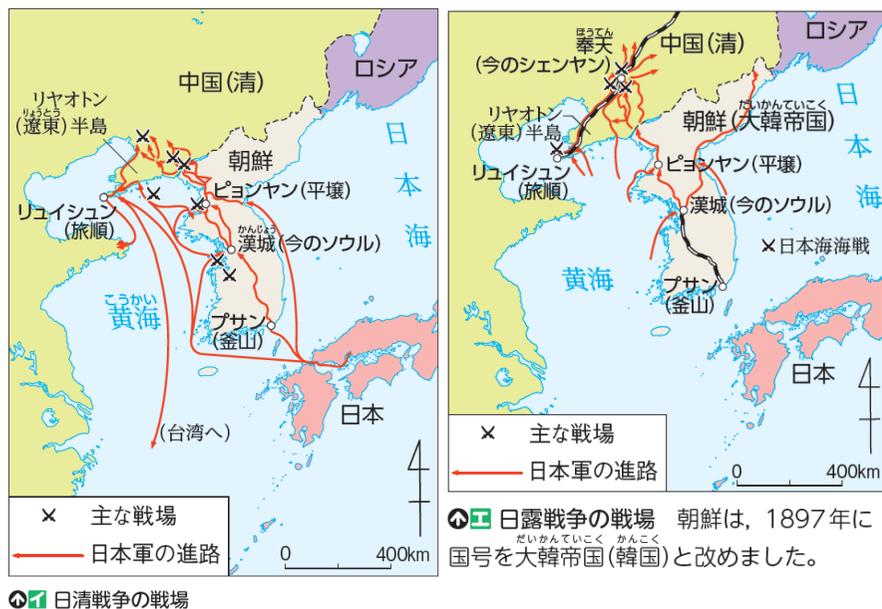
⑤資料2「日露戦争の戦場」から、わかることを書こう。

- ・今後は朝鮮から日本軍が出ている。
- ・中国（清）が戦場の中心になっている。日本海でもロシアと戦い、勝利した。
- ・鉄道ができていところが日清戦争と違っている。

⑥日清戦争・日露戦争についてノートにまとめよう。



資料の読解



本時のワークシートでは3つの資料を扱う。資料7の風刺画はビゴアの「魚釣り遊び」(1887年作)である。1882年に来日した画家ビゴアは、日本に関わる様々な絵を残した。この風刺画はその一つであり、当時の日本、中国、ロシア、朝鮮の様子を的確に表している。

資料の1と2は、日清戦争および日露戦争の主な戦場と日本軍の進路を表している。2つの資料を比べてみると、その戦争の違いが見えてくる。日清戦争では主な戦場が朝鮮から中国に及んでいるのに対して、日露戦争では中国と日本海である。進路も日清戦争では日本から出ているが、日露戦争では朝鮮半島から中国に進んでいる。地図からわかるこのようなことを、本文の内容と関連づけて理解させたい。

読解の方法

- (1) この風刺画では、人物や魚がどの国を表しているかわかることが、風刺内容を理解する前提となる。そこでまずは登場人物を確認する。
- (2) そして、人物が行っていることが何をたとえているのか考えさせる。予想で構わない。発表させたのち、教科書で当時の社会情勢を理解させ、風刺画のおもしろさを感じ取らせる。「風刺」の意味も辞典等で調べさせたい。
- (3) 日清戦争が起こる理由を確認したうえで、資料1を読み取らせる。主な戦場の場所と日本軍の進路の傾向をつかませ、本文と照らし合わせる。
- (4) 日露戦争についても、(3)と同様に行わせる。この際、比較をさせて、日清戦争と日露戦争の違いに気づかせ、ノートにまとめる際の参考にさせる。